

令和5年度事業報告書

[1] 理事会に関する事項

令和5年度の理事会開催状況は下表のとおり。

区 分	開催年月日	議 事 の 概 要
〔第1回〕 理事会	令和5年 4月1日	・ 代表理事(理事長)の選定について (※ 書面による決議)
第2回 理事会	令和5年 6月6日	1 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について 2 就業規則、再雇用職員規程及び個人情報保護規程の一部改正(案)について 3 評議員会の招集について
〔第3回〕 理事会	令和6年 3月8日	・ 評議員会の招集について (※ 書面による決議)
第4回 理事会	令和6年 3月28日	1 理事長専決処分(理事長の報酬の改定)の承認について 2 理事長専決処分(令和5年度予算の補正等)の承認について 3 下水道排水設備工事責任技術者認定、登録等に関する規程の一部改正(案)について 4 令和6年度資金運用計画(案)について 5 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

[2] 評議員会に関する事項

令和5年度の評議員会開催状況は下表のとおり。

区 分	開催年月日	議 事 の 概 要
第1回 評議員会	令和5年 6月29日	・ 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について
第2回 評議員会	令和6年 3月28日	1 評議員の補欠選任について 2 理事の補欠選任について

[3] 許認可・登記に関する事項

令和5年度の登記に関する事項は下表のとおり。

件名	申請先	許認可登記年月日	同番号	備考
評議員及び役員の変更登記	新潟地方 法務局	令和5年4月25日	—	評議員 3名 辞任及び就任 理事 4名(内、代表理事1名)辞任 及び就任 監事 1名 辞任及び就任
		令和5年10月3日	—	理事 1名 辞任 (※ 駒形理事(魚沼市)の死去に伴うもの)

[4] 役職員に関する事項

1 役員に関する事項

		令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在
評議員		6	6
理事	理事長	1	1
	理事	5	4
	計	6	5
監事		2	2

※ 理事の人数は定款第24条第1項第1号の規定により「3人以上7人以内」とされており、1人減となっても定足数を満たす。

2 職員に関する事項

区分	令和5年3月31日現在							令和6年3月31日現在							備考
	事務	技術			非常勤		計	事務	技術			非常勤		計	
		化学	電気	機械	事務	器具 洗浄			化学	電気	機械	事務	器具 洗浄		
総務課	6(注)	—	—	—	1	—	7	5(注)	—	—	—	1	—	6	事務局長を含む。
業務課	—	3	1	3	1	1	9	—	3	1	3	1	1	9	
新津支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
新井郷川支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
西川支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
長岡支所	—	3	1	1	2	1	8	—	3	1	1	2	1	8	
魚野川支所 六日町駐在所	—	1	1	1(注)	1	1	5	—	1	1	1(注)	1	1	5	
魚野川支所 堀之内駐在所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
計	6	11	7	9	9	7	49	6	11	7	9	9	7	48	

(注1) 「区分」の「魚野川支所六日町駐在所」及び「同 堀之内駐在所」は令和5年3月31日まで各々、六日町支所、堀之内支所である。

(注2) 令和5年3月31日現在の「総務課 事務」6人は、正職員4人のほか、人材派遣職員1人、産休・育休取得職員の代替職員(臨時的雇用職員。雇用期限は令和5年3月31日)1人である。

(注3) 魚野川支所六日町駐在所の「機械職」はいずれも臨時的雇用職員である。

[5] 事業に関する事項

1 流域下水道運転管理受託事業（事業費 3,714,905千円）

信濃川下流流域下水道新潟、新津及び長岡処理区、阿賀野川流域下水道新井郷川処理区、西川流域下水道西川処理区、魚野川流域下水道六日町及び堀之内処理区並びに中越流泥処理センターの運転管理業務を新潟県から受託し、次のとおり行った。

(1) 運転管理受託事業の状況

令和5年度の運転管理受託事業費計（3,714,905千円、新潟県との委託契約に係る金額）は、前年度比4.7ポイント（約1億67百万円）の増加となった。

これは、前年度に比べ、光熱水費が約3,600万円低減したものの、水質消耗品や汚泥処分の契約単価の上昇及び修繕費や乾燥設備保守点検費用の増嵩などによるもの。

（単位：千円）

処理区 区分	新潟	新津	新井郷川	西川	長岡	六日町	堀之内	中越流泥	計
令和5年度 受託事業費	764,192	483,532	664,457	506,678	483,937	262,360	281,204	268,545	3,714,905
令和4年度 受託事業費	731,403	497,578	595,019	494,505	445,125	268,993	267,406	247,693	3,547,722
前年度比 (R5/R4.%)	104.5	97.2	111.7	102.5	108.7	97.5	105.2	108.4	104.7

(2) 流入水量の状況

令和5年度の流入水量計は77,843千 m^3 であり、「流入水量前年度比」0.8ポイントの減となった。処理区別の「同比」では、新津、新井郷川及び六日町処理区で0.8ポイントから1.4ポイント上回ったものの、他処理区においては0.4ポイントから2.9ポイント下回った。

（単位： m^3 ）

処理区 区分	新潟	新津	新井郷川	西川	長岡	六日町	堀之内	計	
令和5年度 流入水量	22,481,364	10,615,335	13,419,838	8,969,760	14,465,577	4,347,066	3,544,004	77,842,944	
(日量平均)	61,424	29,004	36,666	24,508	39,523	11,877	9,683	212,686	(366日)
令和4年度 流入水量	23,028,019	10,531,136	13,245,408	9,002,598	14,711,007	4,286,197	3,650,502	78,454,867	
(日量平均)	63,090	28,852	36,289	24,665	40,304	11,743	10,001	214,945	
流入水量 前年度比 (R5/R4.%)	97.6	100.8	101.3	99.6	98.3	101.4	97.1	99.2	(年水量比)
流入水日量 前年度比 (R5/R4.%)	97.4	100.5	101.0	99.4	98.1	101.1	96.8	98.9	(日水量比)

(注) 令和5年度は366日のため、表の区分「流入水量前年度比」と「流入水日量前年度比」では数値が異なる。

(2)-2 流入水量の状況 (月別、市町村別)

(単位：m³)

年度	処理区	新 潟	新 津	新井郷川	西 川	長 岡	六日町	堀之内
	月							
令和5年度	4	1,743,934	829,667	1,042,579	720,783	1,067,133	331,184	283,873
	5	1,848,932	883,637	1,105,692	768,254	1,132,040	342,104	287,635
	6	1,779,561	865,738	1,077,585	741,252	1,137,234	338,655	288,577
	7	1,951,899	887,300	1,130,053	762,863	1,198,525	349,385	291,473
	8	1,764,950	784,025	1,069,066	712,764	1,102,947	347,659	285,408
	9	1,771,776	799,440	1,055,501	705,808	1,071,709	329,674	261,513
	10	1,885,063	898,699	1,137,398	745,571	1,211,977	353,929	291,843
	11	1,917,754	911,619	1,127,915	743,605	1,242,168	345,207	290,822
	12	2,150,601	1,013,710	1,248,031	812,946	1,463,545	400,162	325,140
	1	2,061,151	1,005,734	1,241,579	815,100	1,437,674	445,581	345,045
	2	1,734,612	830,059	1,047,843	695,597	1,164,063	361,894	282,505
	3	1,871,131	905,707	1,136,596	745,217	1,236,562	401,632	310,170
	計	22,481,364	10,615,335	13,419,838	8,969,760	14,465,577	4,347,066	3,544,004
	日平均	61,424	29,004	36,666	24,508	39,523	11,877	9,683
令和4年度	計	23,028,019	10,531,136	13,245,408	9,002,598	14,711,007	4,286,197	3,650,502
	日平均	63,090	28,852	36,289	24,665	40,304	11,743	10,001

(3) 流入水、放流水の水質状況

各処理区とも良好に処理が行われ、放流水は下水道法の基準値以内であった。

(流入水)
(放流水)

処理区 項目 年度	新 潟					新 津					新 井 郷 川				
	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)
令和5年度	7.2	160	100	210	7.1×10 ⁵	7.3	200	120	210	9.3×10 ⁴	7.1	180	120	240	3.3×10 ⁵
平均	7.4	3.0	14	4	<100	7.3	2.4	12	2	<100	7.3	4.8	15	4	<100
令和4年度	7.2	160	100	200	5.3×10 ⁵	7.3	170	110	180	9.4×10 ⁴	7.1	220	120	230	3.5×10 ⁵
平均	7.3	2.6	13	4	<100	7.3	2.7	13	3	<100	7.3	5.1	16	5	<100
下水道法の 基準値	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	10 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下

処理区 項目 年度	西 川					長 岡					六 日 町				
	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)
令和5年度	7.0	160	94	140	4.1×10 ⁵	7.2	190	90	170	1.0×10 ⁵	7.3	190	87	210	2.6×10 ⁵
平均	7.1	5.4	14	3	<100	7.3	3.0	11	3	<100	7.2	4.8	13	4	<100
令和4年度	7.1	170	97	150	4.9×10 ⁵	7.3	210	96	190	1.5×10 ⁵	7.2	220	98	250	4.0×10 ⁵
平均	7.1	4.3	13	3	<100	7.3	4.4	12	3	<100	7.2	5.3	14	4	<100
下水道法の 基準値	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下

処理区 項目 年度	堀 之 内				
	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)
令和5年度	7.2	150	81	170	1.8×10 ⁵
平均	7.2	2.6	11	1	<100
令和4年度	7.2	150	83	160	1.8×10 ⁵
平均	7.2	3.2	12	2	<100
下水道法の 基準値	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下

備考：・pH:水素イオン濃度、BOD:生物化学的酸素要求量、COD:化学的酸素要求量、SS:浮遊物質

・下水道法の基準値とは下水道法施行令第6条及び下水道法施行規則第4条の二の基準値(令和2年3月末現在)

(4) 汚泥の処理処分状況

項目 処理区名	汚泥の種類	年度	汚泥処分量 (トン)	含水率 (%)	方法別処分量 (トン)						有効利用率 (%)
					有効利用				焼却処分	埋立処分	
					建設資材	コンポスト	肥料販売	その他*1			
新潟処理区	脱水ケーキ	R5	1,703	78.9	1,703	—	—	—	—	—	100
		R4	1,283	78.4	1,283	—	—	—	—	—	100
	乾燥汚泥	R5	1,354	8.9	1,331	12	11	—	—	—	100
		R4	1,481	8.7	1,360	119	2	—	—	—	100
新津処理区	脱水ケーキ	R5	4,228	78.3	4,032	196	—	—	—	—	100
		R4	4,385	78.9	4,195	190	—	—	—	—	100
新井郷川処理区	脱水ケーキ	R5	6,250	78.2	5,845	405	—	—	—	—	100
		R4	6,402	78.3	5,996	406	—	—	—	—	100
西川処理区	脱水ケーキ	R5	2,999	77.6	2,827	172	—	—	—	—	100
		R4	3,045	77.5	2,863	182	—	—	—	—	100
長岡処理区	脱水ケーキ	R5	5,169	81.7	79	—	—	5,090	—	—	100
		R4	5,871	82.1	27	14	—	5,830	—	—	100
中越流泥*3	脱水ケーキ	R5	88	81.7	88	—	—	—	—	—	100
		R4	72	81.9	63	9	—	—	—	—	—
	乾燥汚泥	R5	2,670	5.6	2,582	88	—	—	—	—	100
		R4	2,769	5.8	2,579	190	—	—	—	—	100
六日町処理区	脱水ケーキ	R5	1,806	80.1	1,644	162	—	—	—	—	100
		R4	1,804	80.2	1,569	235	—	—	—	—	100
堀之内処理区	脱水ケーキ	R5	836	77.2	745	91	—	—	—	—	100
		R4	957	78.0	859	98	—	—	—	—	100
処理区計	脱水ケーキ	R5	23,079	—	16,963	1,026	—	5,090	—	—	100*2
		R4	23,819	—	16,855	1,134	—	5,830	—	—	100*2
	乾燥汚泥	R5	4,024	—	3,913	100	11	—	—	—	100
		R4	4,250	—	3,939	309	2	—	—	—	100

備考：*1 長岡処理区の「その他」は中越流泥への送泥分

*2 処理区計の有効利用率は、中越流泥送泥分を除外して算出（中越流泥の乾燥汚泥として計上しているため。）

*3 中越流泥受入量（単位：トン）

	合計	(公共)	(流域)
R5	13,963.49	8,873.45	5,090.04
R4	14,811.68	8,981.19	5,830.49

内、公共下水道(各処理施設)からの汚泥量内訳

	合計	(中央浄化)	(和島)
長岡市	R5	6,848.60	163.42
	R4	6,814.49	140.06

	合計	(三条)	(栄)	(下田)
三条市	R5	972.69	130.25	221.21
	R4	1,014.11	134.57	233.47

加茂市	R5	1,052.16
	R4	1,152.59

2 公共下水道等運転管理受託事業（事業費 20,482千円）

新潟市「新津地区し尿受入施設」及び南魚沼市「し尿受入施設」の運転管理業務を受託した。

3 新潟県及び市町村が実施する事業への協力

(1) 流域下水道の維持管理及び施設・設備の改善等について、次のとおり県へ提案、協力を行った。

- ア 維持管理費の低減に向けた修繕や保守点検の継続的な見直しによる効率的な予算執行
- イ 新潟、新津、新井郷川、西川、六日町及び堀之内浄化センターにおける消化ガス発電設備の効率的な運用に係る提案・協力
- ウ 西川浄化センターでの「下水資源・エネルギーを活用した植物栽培の実証実験」の運転協力
また、新潟浄化センターにおける「（藻から原油を抽出するための）藻類培養実験施設」設置に係る協力
- エ 維持管理のより一層の効率化に向けた民間活力導入に関する県の検討に協力するとともに、組織体制を見直し、包括的民間委託導入等管理手法を検討
- オ 脱炭素化社会への転換に向け、県が実施する施策への協力
特に、令和6年2月から始まった新井郷川浄化センターにおける消化ガスの売却事業では、消化ガスの払出量の明確化など実務の円滑な執行に向け協力

(2) 市町村が実施する事業等について、次のとおり支援、協力を行った。

- ア 「し尿受入施設」の維持管理に係る関係市、県への協力
- イ 市町村の下水道担当職員の減少が進む中、下水道の運転管理全般に関する市町村からの相談を受け付ける「下水道よろず相談室」を令和4年9月に開設し、継続して対応
- ウ 県内市町村(12市町村)を訪問し、維持管理の実情等の意見交換を行い、公社ができる市町村支援内容を検討
- エ 流域関連市町村が行う特定事業場への立入指導などに同行し、技術的なアドバイスを実施

4 調査研究事業（事業費 357千円）

(1) 各処理場で直面している課題等への取り組みについて

毎年度、各処理場毎に運転維持管理状況を踏まえた業務改善や維持管理経費削減等の課題を抽出し、解決に向け取り組んでいる。令和5年度は、7事業所で9項目について取り組んだ。

(2) 環境への配慮・効率的維持管理に向けた取り組みについて

- ア 下水汚泥等の活用促進検討
下水道汚泥肥料利用の拡大に向けて、流域下水道事務所が行う調査、研究、広報活動に協力した。なお、作業の安全性や効率性の観点から、袋詰の機械化等を検討している。
- イ 電力料金の縮減の取組
令和5年度の電気料については、社会情勢（円安、燃料費等の高騰）による電力単価の変動を踏まえ、新電力会社等と新たに契約するより令和4年度から東北電力(株)と締結している現契約の方が優位であると判断し、当該契約を継続することとした。現段階では、競争入札による電力供給調達について電気料金の変動やこれに伴う取引相手先との契約問題などのリスクが考えられることから、今後の社会情勢を鑑み、適切な時期に再開する方向で検討していくこととしている。

ウ 中期目標の設定

流域下水道の環境負荷の低減や良好な水質の保全に向け、効率的で質の高い維持管理がなされているか客観的に判断・評価するため、「下水道維持管理サービス向上のためのガイドライン2007」で示された運転・維持管理状況を評価する業務指標(所謂P I・C I)を活用し、令和4年度から3年間の中期目標を新たに定めた。また、その結果を毎年度公表し、更なる効率的で質の高い維持管理に努めていくこととしており、令和5年度も継続して実施した。

エ SDGsへの取組み

前年度に設置した「SDGs準備委員会」を「SDGs推進委員会」に改組し、各所属の課題をSDGsに紐付けて取り組むよう推進するとともに、SDGsに関する理解度を更に高めるため、同委員会の推進長である各所属長を対象に外部講師による講習会を開催した。また、前年度に加入した「SDGsにいがた」主催のセミナーにも積極的に参加した。

5 下水道啓発事業 (事業費 3,847千円)

下水道事業に対する理解と関心を深めるとともに、下水道知識の普及・啓発を図るため、次の事業を実施した。

(1) 浄化センターの施設見学の受入れ

下水道事業の理解促進に効果的な浄化センターの施設見学については、受入れを本格的に再開したが、見学者数はコロナ禍時(令和2年度の861人)まで落ち込んだ。改めて小学校への啓発活動について注力する必要があると思われる。

令和5年度 施設見学者の状況

(単位：人)

区分 浄化センター	総 数		内 訳		
			一 般	学校関係	官公署関係
新 潟	(14)	280	(8) 101	(3) 156	(3) 23
新 津	(5)	131	(0) 0	(4) 126	(1) 5
新 井 郷 川	(2)	64	(0) 0	(1) 58	(1) 6
西 川	(6)	115	(2) 47	(3) 48	(1) 20
長 岡	(10)	136	(4) 23	(4) 100	(2) 13
六 日 町	(1)	17	(0) 0	(1) 17	(0) 0
堀 之 内	(6)	158	(0) 0	(6) 158	(0) 0
本 年 度 計	(44)	901	(14) 171	(22) 663	(8) 67
前 年 度 計	(52)	1,224	(7) 117	(28) 999	(17) 108

(注) () は団体数。なお、本年度は「リモート見学」無し。

また「出前授業」は新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、実施を控えた。

(2) 広報活動（下水道フェスタの開催）について

県民に対する積極的な情報発信の一環として、「よみがえる“みず”わくわくフェスタ」を開催した。当日は、新潟浄化センターを会場に「下水道探検ツアー」や「微生物観察コーナー」等のイベントを実施し、下水道の役割や必要性・重要性について一層の理解促進を図った。

ア 開催日 令和5年9月3日(日)

イ 内容 下水道探検ツアー、微生物観察、下水道教室等

ウ 来場者 約800人

エ その他

- ① 新潟浄化センターでは6回目の開催
- ② 共催、後援及び協賛団体等は次のとおり
 - ・共催：新潟県
 - ・後援：新潟市、新潟県下水道協会、地方共同法人日本下水道事業団関東・北陸総合事務所
 - ・協賛：公益社団法人日本下水道管路管理業協会中部支部新潟県部会、一般社団法人新潟県下水道管路維持改築協会、下水道関係企業(プラントメーカー)各社

6 下水道研修事業（事業費 290千円）

(1) 市町村から要望の多い、下水道業務経験の浅い(新任～3年程度の)職員を対象とした下水処理場の維持管理や電気・機械設備の概要及び維持管理上の注意点等について、次のとおり技術講習会を開催した。

ア 開催日 令和5年6月23日(金)

イ 名称 下水道維持管理技術講習会

ウ 会場 新潟浄化センター

エ 参加者 35名(16団体)

オ 内容

- ① 講義 下水処理場の維持管理の概要及び電気・機械設備の維持管理上の注意点
- ② 現場研修 電気設備の模擬測定、機械設備模擬操作
- ③ 水質分析 CODパックテスト(簡易検査キットを使用したCOD比色検査)及び残留塩素測定方法の説明

なお、「講義内容」について受講者にアンケートしたところ、約9割が『良かった』又は『だいたい良かった』との回答であり、また、「現場見学」についても、参加者全員が『有意義だった』又は『だいたい良かった』との回答であった。

(2) 公社職員の一層の資質向上と技術の研さんを図るため、以下の研修等に参加した。

ア 日本下水道事業団研修

- | | |
|--------------------------------------|----|
| ① 処理場管理Ⅰ(対面) | 1名 |
| ② 処理場管理Ⅱ(対面) | 1名 |
| ③ 消費税のインボイス制度(ワンデメント) | 1名 |
| ④ 効果的な包括管理民間委託の導入と課題(導入準備編)(Web) | 1名 |
| ⑤ 効果的な包括管理民間委託の導入と課題(総合マネジメント編)(Web) | 1名 |
| ⑥ 処理場の包括的民間委託における履行確認(対面) | 1名 |

⑦ 水処理施設の管理指標の活かし方(Web)	1名
イ 公益社団法人日本下水道協会主催の研修	
① 第35回下水汚泥の有効利用に関するセミナー(web)	4名
② 下水処理場・ポンプ場施設台帳管理システム標準仕様(案)・導入の手引き説明会(Web)	7名
ウ 新潟県自治研修所主催「階層別研修 係長研修	1名
エ (一財)新潟県建設技術センター主催「クリエイティブセミナー」 第3回 『心のレジリエンス』	2名
オ 公益財団法人日本下水道新技術機構主催のセミナー(Web)	
【新技術セミナー】	
① 下水道事業における太陽光発電の普及に向けて	2名
② 持続可能な下水道事業運営に向けた官民連携の取組み	4名
【技術サロン】	
① 横須賀市における生成AIの活用について	3名
② 浜松市下水道コンセッション事業の取組と成果	5名
③ 「今こそ、前進させよう！下水汚泥の肥料利用」	4名
カ SDGsにいがた主催のセミナー(Web)	
① 第1回 「持続可能な社会を目指す“健康”の 観点からのアプローチ」	2名
② 第2回 行動経済学の”ナッジ(nudge)”	1名
③ 第3回 「わが社のありようを追求・実践したら SDGsそのものだった」	2名
④ 第4回 「待ったなし脱炭素 新潟の未来を考える 4回シリーズの1」	2名
⑤ 第5回 「待ったなし脱炭素 新潟の未来を考える 4回シリーズの2」	1名
⑥ 第6回 「待ったなし脱炭素 新潟の未来を考える 4回シリーズの3」	2名
⑦ 第7回 「待ったなし脱炭素 新潟の未来を考える 4回シリーズの最終回」	2名
⑧ 第8回 「新潟から世界に踏み出そう ～『国際協力』はサステイナブルの柱～」	1名
キ 公社独自及びその他の研修会等	
① にいがた PPP/PFI 研究フォーラム	5名
② SDGs講習会(講師：未来創造実践工房 山本直弘氏)	16名

7 下水道排水設備工事責任技術者認定、登録等事業 (事業費 9,478千円)

市町村の事務の省力化及び責任技術者の技術水準の平準化を図るため、全県を統一して以下の認定試験、登録等を行った。

(1) 下水道排水設備工事責任技術者受験講習の実施 (申込者数)	181 人
(2) 下水道排水設備工事責任技術者認定試験の実施 (申込者数)	219 人
(3) 下水道排水設備工事責任技術者の新規登録	88 人 (内、試験免除者15人)
(4) 下水道排水設備工事責任技術者更新講習の実施 (申込者数)	1,685 人
(5) 下水道排水設備工事責任技術者の更新登録	1,632 人

※ (1), (2), (4)の「申込者数」は手数料納付人数